

《専決処分の報告及び承認案件》

承第1号 令和3年度 南和広域医療企業団 病院事業会計補正予算（第1号）について 【議案資料 1】

《決算関係案件》

認第1号 令和2年度 南和広域医療企業団 病院事業会計決算について 【議案資料 2】

《予算関係案件》

議第5号 令和3年度 南和広域医療企業団 病院事業会計補正予算（第2号）について 【議案資料 3】

《報告案件》

報第2号 南和広域医療企業団 病院事業会計資金不足比率の報告について 【議案資料 4】

令和3年度南和広域医企業団病院事業会計補正予算（第1号）-8月6日専決-について

議案資料 1

南奈良総合医療センター 病院事業補正予算の概要

資本的収入

補正予算額 125,386千円

【補正理由】新型コロナウイルス感染症関連補助金受給による

項) 補助金

目) 国・県補助金

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金
 - ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金等
- …………… 125,386千円

※補正前予算額 576,343千円
 補正後予算額 701,729千円

資本的支出

補正予算額 125,386千円

【補正理由】新型コロナウイルス感染症予防対策のため

項) 建設改良費

目) 病院改築事業費

- ・工事請負費（Wi-Fi工事） …………… 4,200千円

目) 器械備品購入費

- ・医療機器購入 …………… 120,265千円
 (人口呼吸器、全自動遺伝子解析装置等)
- ・備品購入 …………… 921千円
 (パーティションクリンファンユニット等)

※補正前予算額 654,689千円
 補正後予算額 780,075千円

令和3年度南和広域医企業団病院事業会計補正予算（第1号）-8月6日専決-について

吉野病院 病院事業補正予算の概要

資本的収入

補正予算額 3,990千円

【補正理由】新型コロナウイルス感染症関連補助金受給による

項) 補助金

目) 国・県補助金

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金等 …………… 3,990千円

※補正前予算額 7,200千円
 補正後予算額 11,190千円

資本的支出

補正予算額 3,990千円

【補正理由】新型コロナウイルス感染症予防対策のため

項) 建設改良費

目) 病院改築事業費

- ・工事請負費（Wi-Fi工事） …………… 2,100千円

目) 器械備品購入費

- ・医療機器購入 …………… 440千円
 （全自動遺伝子解析装置等）
- ・備品購入 …………… 1,450千円
 （空気清浄装置等）

※補正前予算額 34,516千円
 補正後予算額 38,506千円

令和3年度南和広域医企業団病院事業会計補正予算（第1号）-8月6日専決-について

五條病院 病院事業補正予算の概要

資本的収入

補正予算額 2,630千円

【補正理由】新型コロナウイルス感染症関連補助金受給による

項) 補助金

目) 国・県補助金

・新型コロナウイルス感染症感染拡大
防止・医療提供体制確保支援補助金 …… 2,630千円

※補正前予算額 0千円
補正後予算額 2,630千円

資本的支出

補正予算額 2,630千円

【補正理由】新型コロナウイルス感染症予防対策のため

項) 建設改良費

目) 病院改築事業費

・工事請負費（Wi-Fi工事） …… 2,100千円

目) 器械備品購入費

・備品購入 …… 530千円
（空気清浄装置等）

※補正前予算額 20,833千円
補正後予算額 23,463千円

令和2年度 南和広域医療企業団 決算の概要

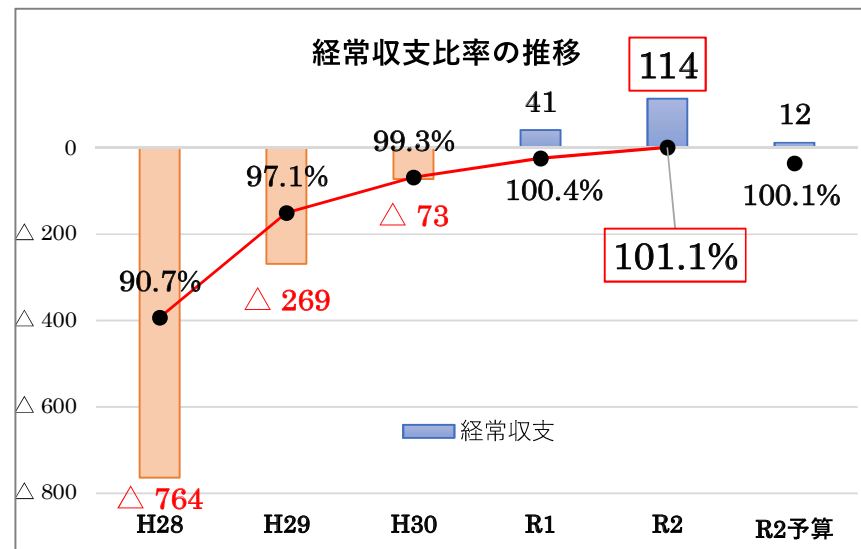
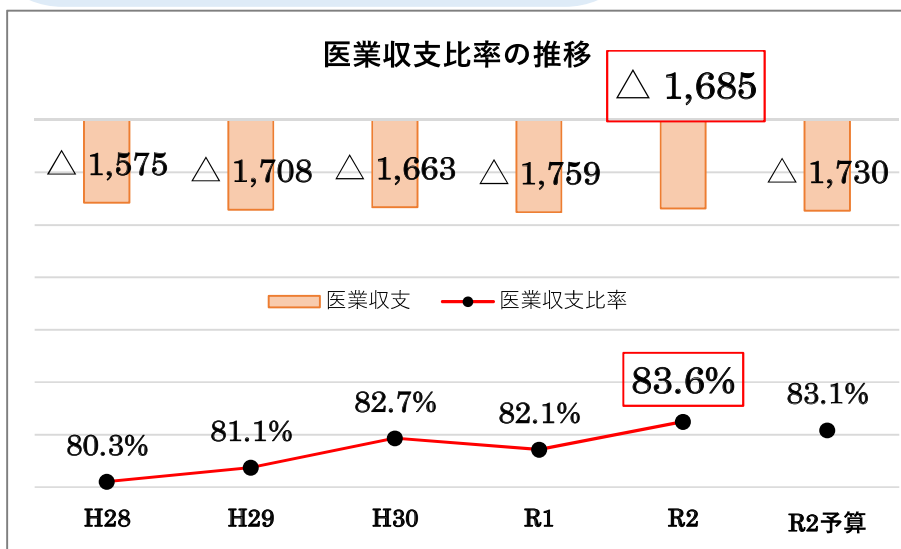
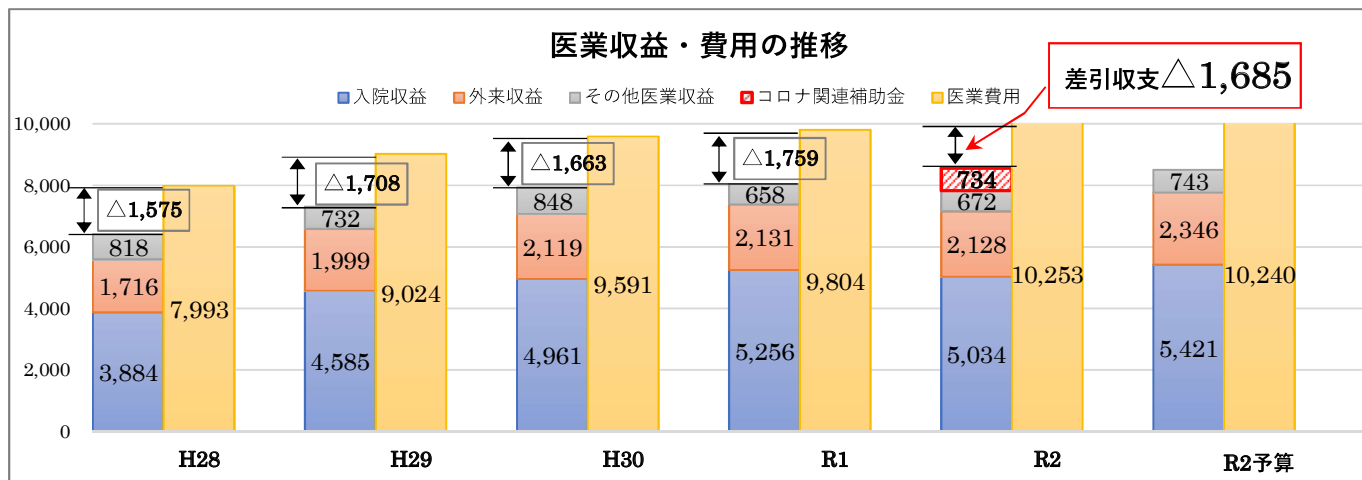
議案資料 2

当年度純利益は、1億14百万円

- 医業収支 ▲16億85百万円 (対前年度+76百万円)
- 経常収支 +1億14百万円 (対前年度+73百万円)
- 医業収支比率 83.6% (対前年度+1.6ポイント)
- 経常収支比率 101.1% (対前年度+0.7ポイント) で、いずれも改善傾向にある

※ 医業収益において、新型コロナウイルス対応経費を、空床補償などの補助金で補てんしたほか、
 医業外収益において、減価償却見合分を建物取得時の補助金で経理上収益処理したことや、交付税相当分の負担金収入により経常収支の黒字を確保

1 医業収益	8,568	
(1) 入院収益	5,034 (95.8%)	
(2) 外来収益	2,128 (99.9%)	
(3) その他医業収益	1,406 (213.7%)	
2 医業費用	10,253	
医業損失		△ 1,685
3 医業外収益	2,052	
4 医業外費用	253	1,799
経常利益		114
5 特別利益	166	
6 特別損失	166	0
当年度純利益	114	



決算の概要（病院別）

南奈良総合医療センター・吉野病院・五條病院

南奈良総合医療センター



232床

吉野病院



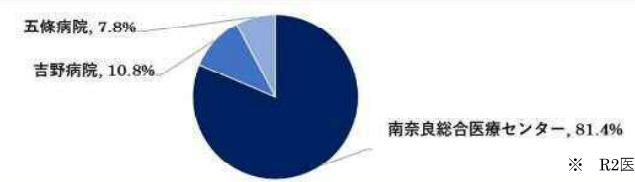
96床

五條病院



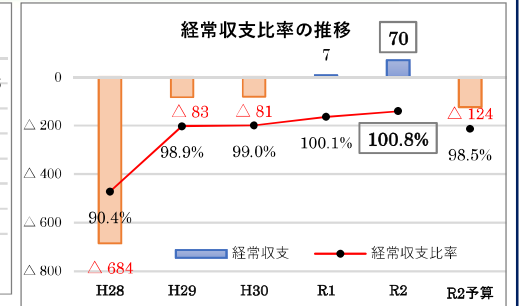
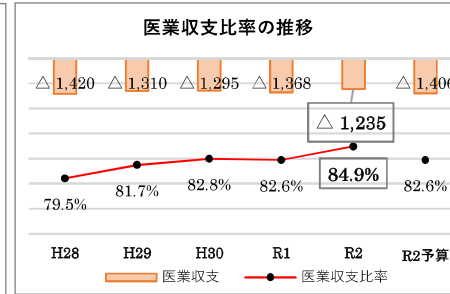
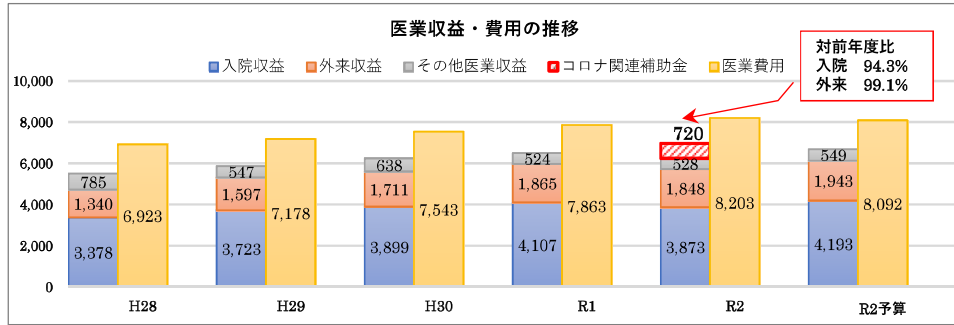
71床

【構成割合】



※ R2医業収益ベース

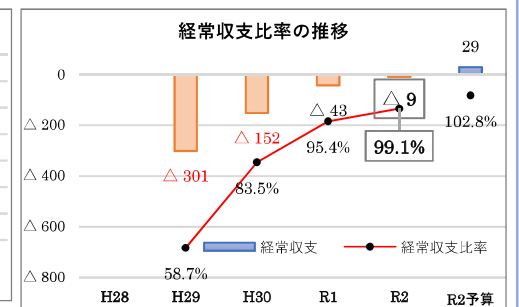
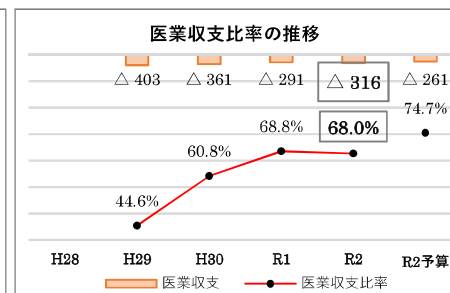
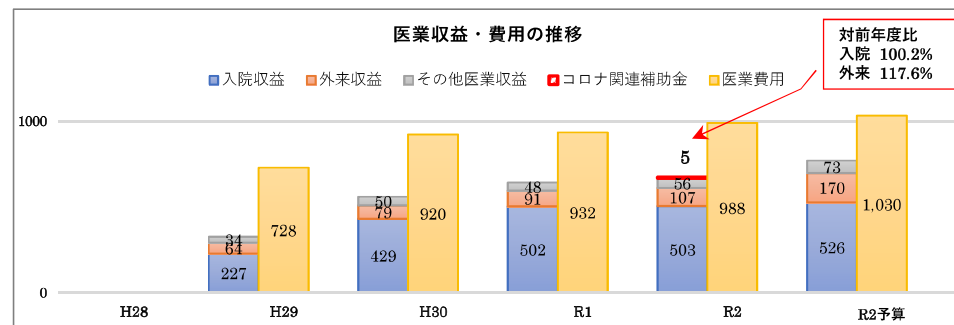
南奈良総合医療センター



吉野病院

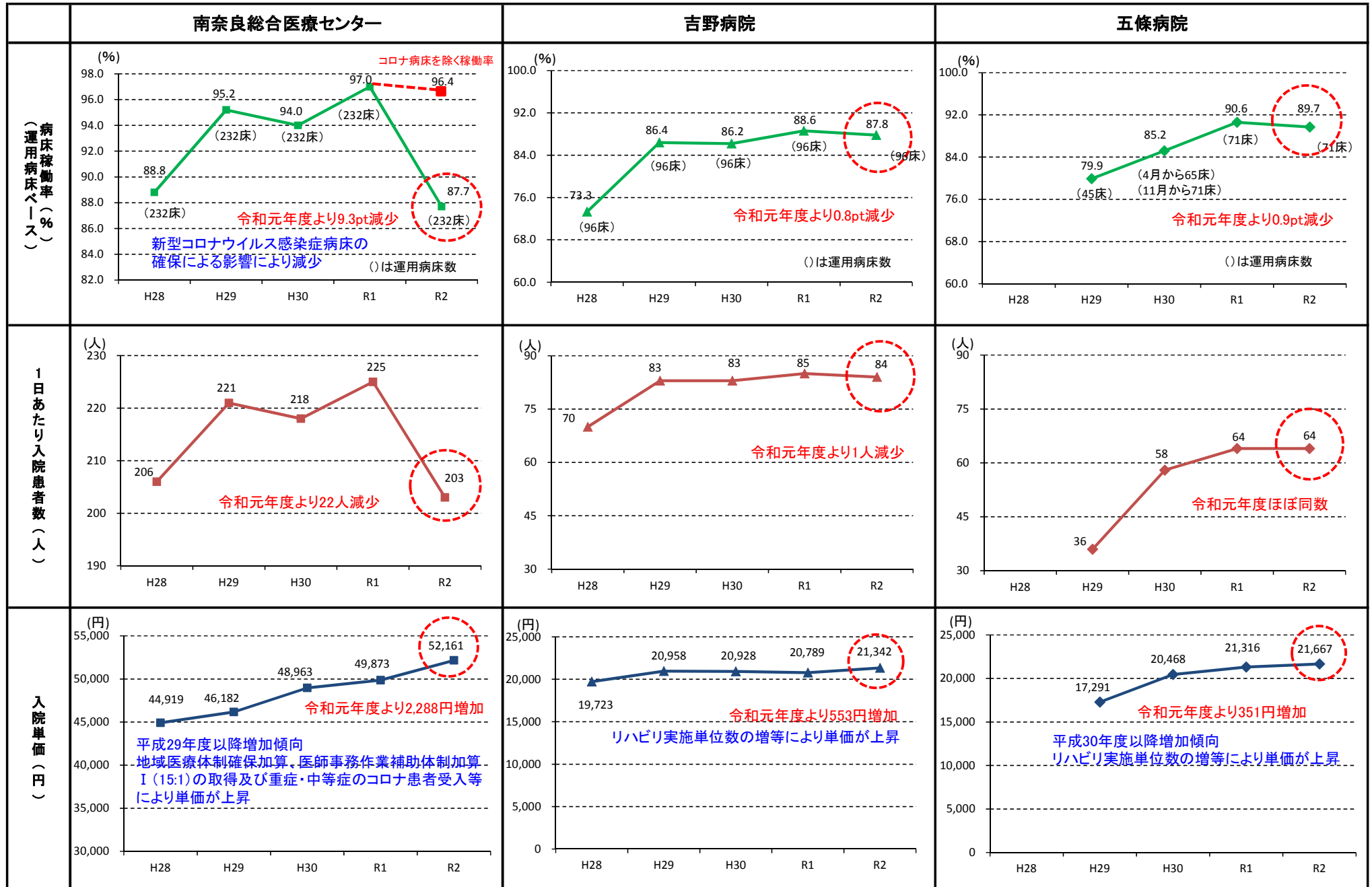


五條病院



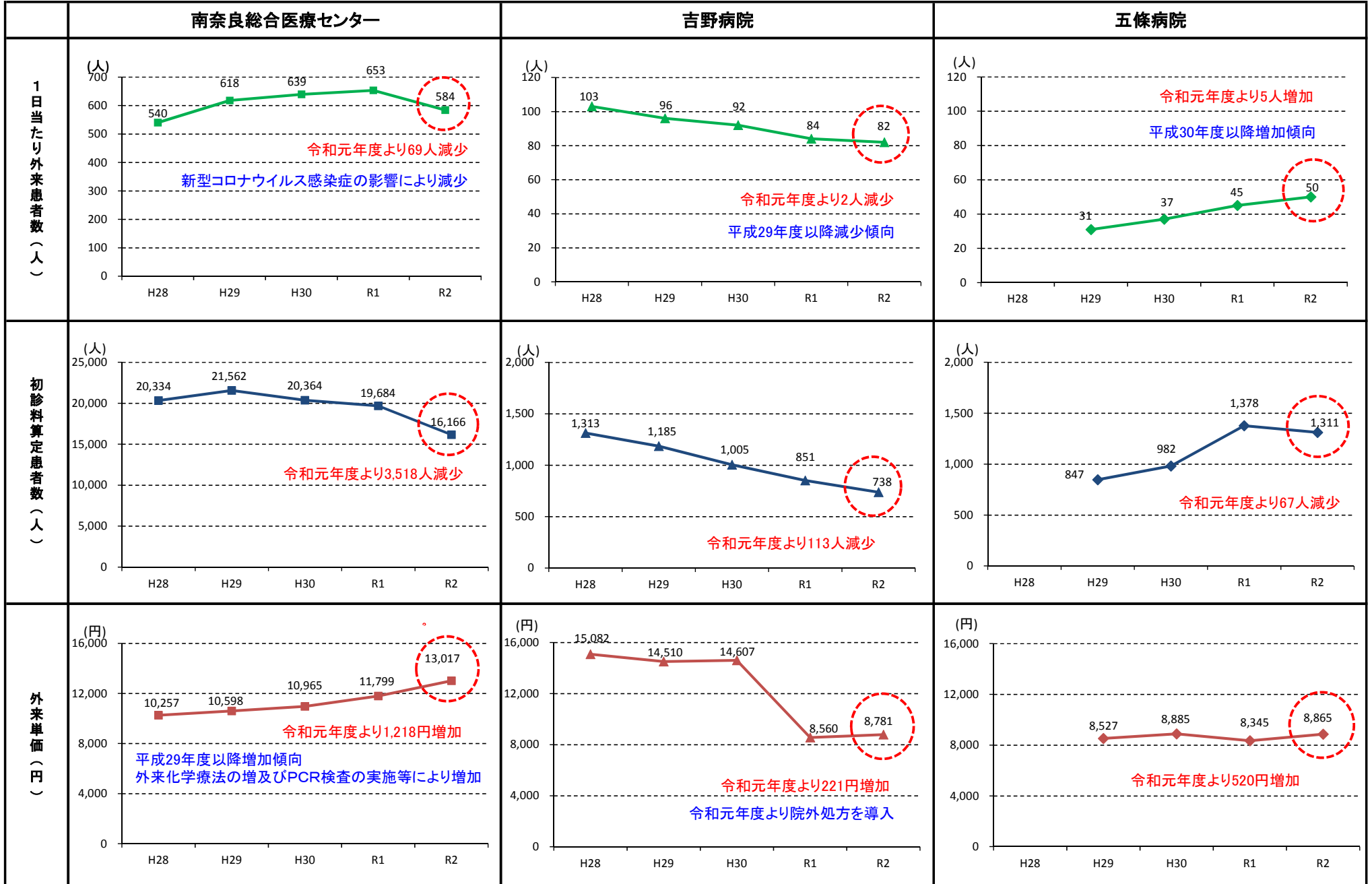
入院

各病院における診療指標の推移①(入院関係指標)



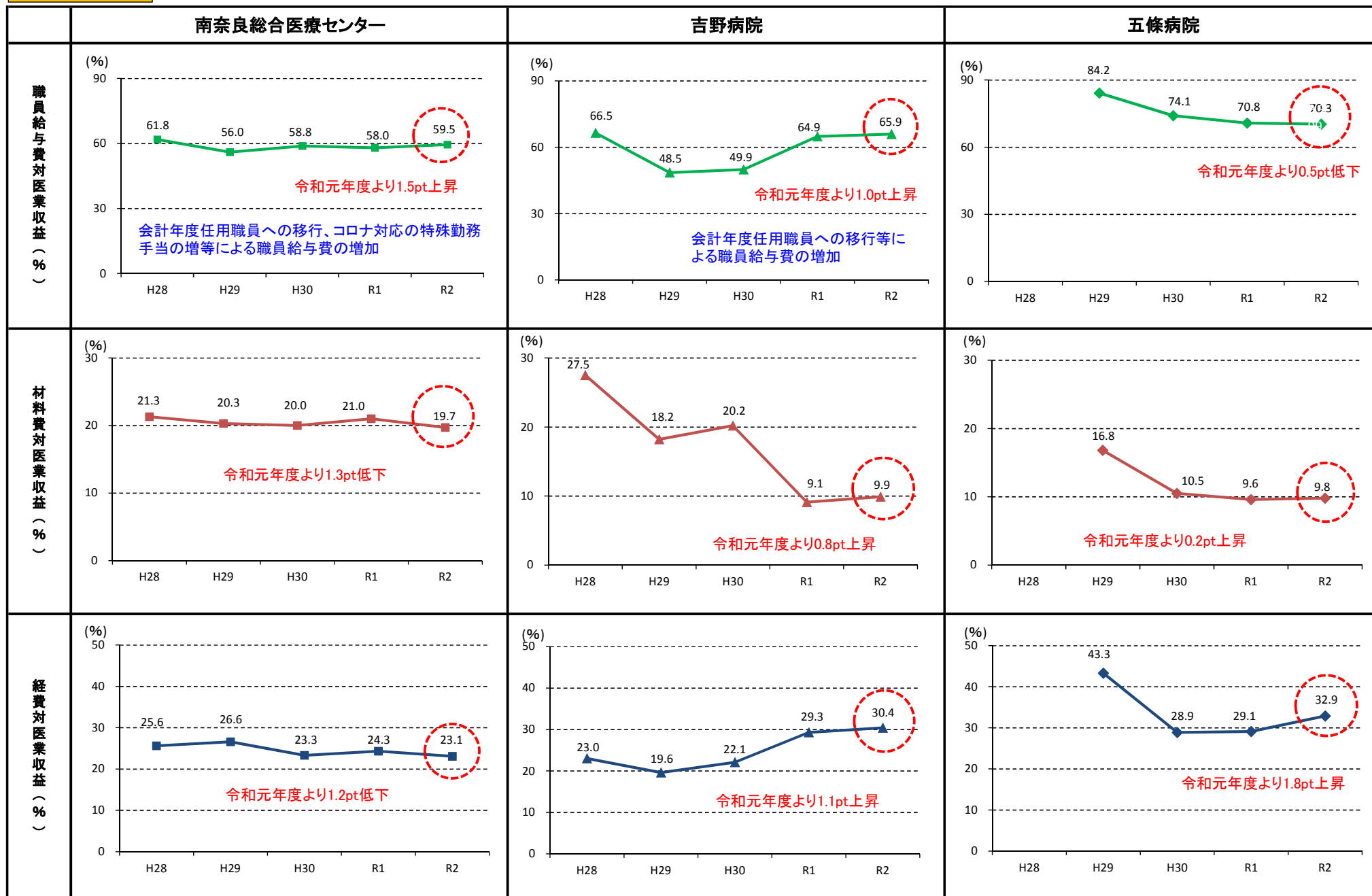
外来

各病院における診療指標の推移②(外来関係指標)



費用

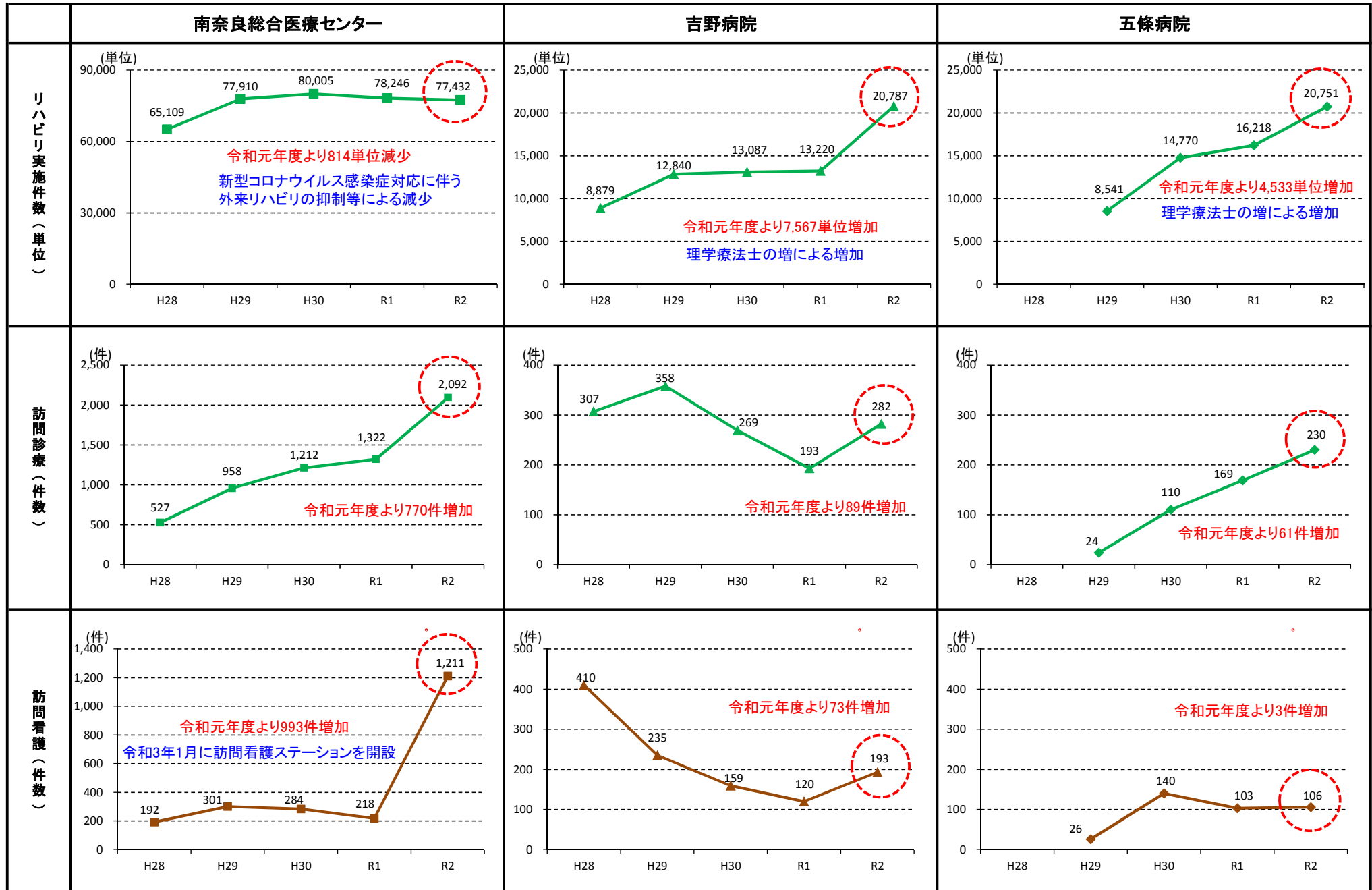
各病院における診療指標の推移③(費用関係指標)



※令和元年度より院外処方を導入

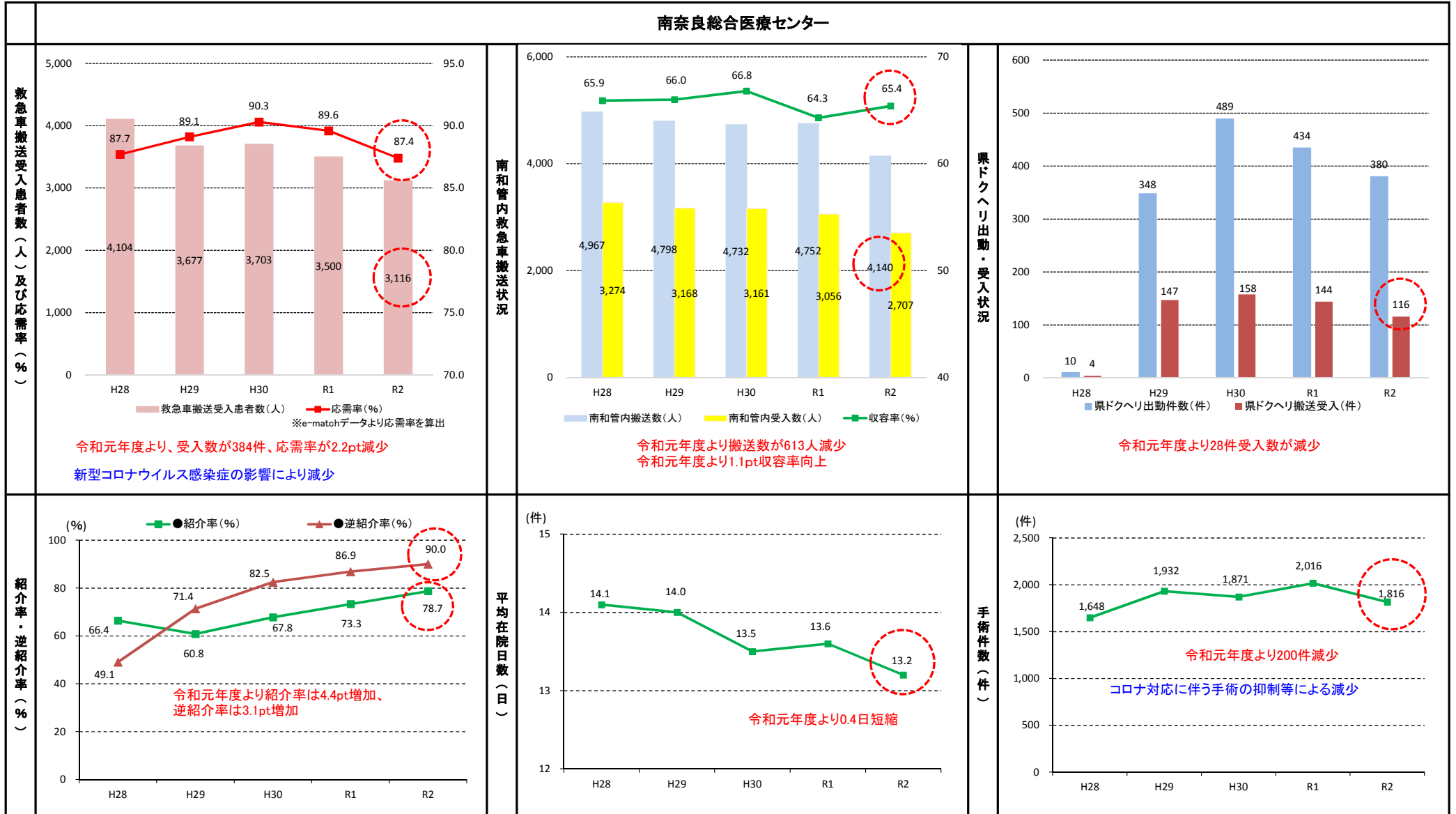
その他

各病院における診療指標の推移④(その他指標)



その他

各病院における診療指標の推移⑤(その他指標)



令和元年度より、受入数が384件、応需率が2.2pt減少
新型コロナウイルス感染症の影響により減少

令和元年度より搬送数が613人減少
令和元年度より1.1pt収容率向上

令和元年度より28件受入数が減少

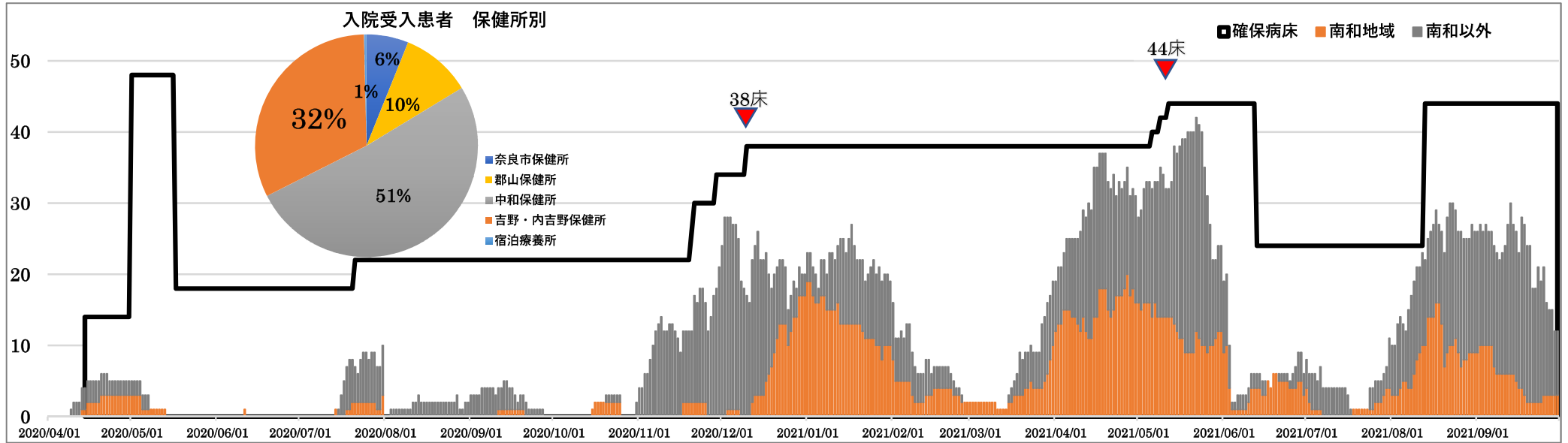
令和元年度より紹介率が4.4pt増加、
逆紹介率は3.1pt増加

令和元年度より0.4日短縮

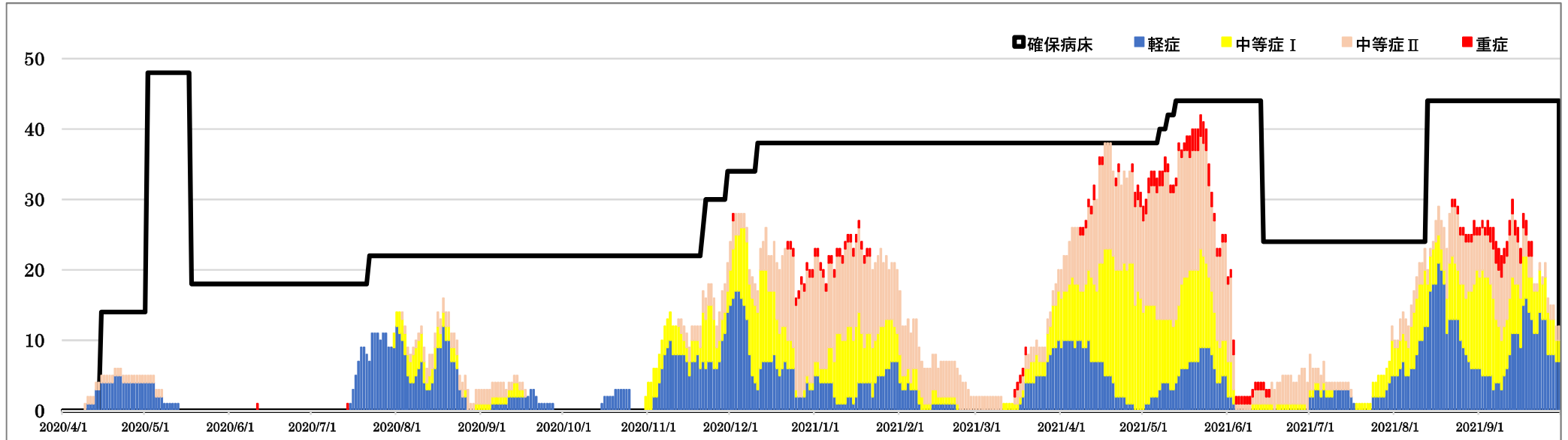
令和元年度より200件減少
コロナ対応に伴う手術の抑制等による減少

新型コロナウイルス患者の受入状況（地域別・症状別）

■ 南奈良総合医療センター 新型コロナウイルス感染症 病床確保および確定入院患者数の推移



■ 南奈良総合医療センター 新型コロナウイルス感染症 トリアージ別病床確保および確定入院患者数の推移



R3.9.30時点

南奈良総合医療センター 病院事業補正予算の概要

資本的支出

補正予算額 15,000千円

【補正理由】新型コロナウイルス感染症予防対策のため

項) 建設改良費

目) 病院改築事業費

・工事事務費（診療棟設計費） …………… 15,000千円

※補正前予算額 780,075千円
補正後予算額 795,075千円

※資本的収入が、資本的支出に対して不足する額「129,255千円」を「144,255千円」に改め、損益勘定留保資金で補てんするものとする。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条の定めによる、資金不足比率について下記のとおり報告いたします。

比率の概要

①資金不足比率の算定

○地方公共団体の長は、毎年度公営企業ごとに資金不足比率を算定、監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告、公表

②経営健全化基準(20%)以上となった場合

○経営健全化計画を議会の議決を経て作成、毎年度、経営健全化の実施状況を議会に報告し公表

算定式

(単位:千円)

項目		
1. 流動負債	(① - ②)	1,496,519
	① 流動負債	1,912,662
	② 控除企業債	416,143
2. 令和2年度同意等債で未借入または未発行の額		0
3. 建設改良費等以外の経費に対する地方債の現在高		0
4. 流動資産		3,579,319
5. 令和3年度に繰り越される支出の財源充当額		0
6. 医業収益(事業規模)		8,543,116
資金不足額	(1-2)+3-(4-5)	△ 2,082,800
資金不足比率	{(1-2)+3-(4-5)} / 6 × 100	—

※ 資金不足比率なしのため、「—」と表記

算定結果

令和2年度決算に基づき、南和広域医療企業団病院事業の資金不足の算定を行ったところ、下記のとおり資金不足が生じていないため、資金不足比率の該当はなし。

事業名	資金不足比率	備考
病院事業	—	資金不足なし

※ 資金不足比率なしのため、「—」と表記

【指標の説明】

公営企業ごとの「資金の不足額」の「事業規模」に対する比率。

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示す。